

令和6年度 渡島中学校体育大会 第73回渡島中学校陸上競技大会 開催要項

第51回全日本中学校陸上競技選手権大会四種競技指定大会
(第76回函館市中学校陸上競技大会と同時開催)

- 1 主催 道南陸上競技協会 渡島中学校体育連盟
- 3 後援 渡島教育委員会連絡協議会
- 4 主管 道南陸上競技協会
- 5 日時 令和6年 6月 8日(土) 9日(日) 競技開始予定 9:00
※監督会議 8:00(8日のみ) 審判打合 8:15(両日)
- 6 会場 函館市千代台公園陸上競技場
- 7 競技規則 2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び渡島中体連申し合わせ事項による。
- 8 競技種目
 - (1) 男子(14種目)
1年 100m 2年 100m 3年 100m
全学年共通 200m 400m 800m 1500m 3000m
110mH 4×100mR 走高跳 棒高跳 走幅跳
砲丸投(5.000kg) 四種競技(砲丸4.000kg)
 - (2) 女子(12種目)
1年 100m 2年 100m 3年 100m
全学年共通 200m 800m 1500m 100mH
4×100mR 走高跳 走幅跳 砲丸投(2.721kg)
四種競技(砲丸2.721kg)
- 9 参加資格
 - (1) 渡島中学校体育連盟に加盟する中学校・中等教育学校・義務教育学校に在籍する生徒で当該学校長が出場を認めた生徒とする。
 - (2) 渡島中学校体育大会に学校教育法第134条の各種学校(第1条に掲げるもの以外)と地域クラブ活動の参加を認める。但し、詳細については渡島中学校体育大会開催基準及び後述の【16 渡島中体連大会参加における参加の特例】による。
 - (3) 参加生徒の引率者及び監督は、当該学校の校長・教員とする。
 - (4) 監督・引率者は、部活動の指導中の暴力等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていないものであること。外部指導者は校長から暴力等による指導措置が無いこと。
 - (5) 外部指導者(コーチ)は校長が認めた者で、北海道中学校体育連盟に登録された者とする。
 - (6) 地域クラブ活動に所属する中学生
 - ①地域クラブ活動に所属し、北海道中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。
 - ②参加選手の引率者・及び監督は、当該スポーツ団体に継続して指導している指導者とする。
 - ③参加選手については、事前に中体連事務局に提出した登録者一覧から選出する。
- 10 参加制限
 - (1) 1人2種目以内とする。ただし、リレーは除く。
 - (2) 学年別種目は、前項の該当学年に限る。ただし、共通種目には全学年が出場できる。
 - (3) 各種目において各校及び各チームの出場者の制限はなしとする。
 - (4) リレーは、登録メンバーが同一学校に在籍している場合に限り、団体(地域スポーツ団体等)の所属で参加することができる。
 - (5) 複数の種目(リレーを含む)に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。

- 1 1 表 彰 (1) 各種目 8 位までに賞状を授与する。また、リレーについては 6 名分賞状を授与する。
(2) 男女別学校対抗は行わない。
(3) リレーの優勝チームにはトロフィーを授与する。
(4) 優秀な成績を収めた選手には、道南陸上競技協会より優秀選手章を授与する。
- 1 2 申込手続き (1) 各校は道南陸協ホームページより、渡島中体連指定の申込データをダウンロードし、必要事項を入力する。以下の①・②を期日まで下記アドレスにメールで添付し送信すること。
①「参加申込一覧表（男子・女子）」の入力後のエクセルデータ
②「参加申込一覧表（男子・女子）」をプリントアウトし、職印を押して PDF にしたデータ
ア. 申込先 北斗市立浜分中学校 山本 伸行 宛
アドレス gannbanobuyuki@yahoo.co.jp
イ. 申込締切 令和 6 年 5 月 2 3 日（木） 1 6 : 0 0 まで必着
- 1 3 ナンバーカード 道南陸上競技協会指定のものを使用する。
- 1 4 競技用具 原則として、競技場備えつけの用具を使用する。砲丸の検定は行わない。
- 1 5 その他 (1) 当日の選手バスや応援保護者等の駐車場は、後日各学校へ連絡する。
(2) テントをはる場合は指定された場所のみとする。後日、参加校へ連絡する。
(3) スパイクピンについては、オールウェザー専用ピンを使うこと。長さは 9 mm までとする。
ただし、走高跳は 1 2 mm までよい。
(4) 学年別種目の地区 1 位の決め方は、1 ~ 3 年までの中で最も記録のよいものとする。ただし、同タイムの場合は、学年が上の者とする。
(5) 全道大会参加標準記録に到達した生徒、及び標準記録に到達していない種目の 1 位の生徒（学年別種目は上記（4）参照）は、全道大会に出場することができる。
(6) 参加者は、開催事項に掲げる個人情報の取り扱いについて了承するものとする。
(7) 円滑な競技運営のため、参加校及び参加チームから最低 1 名以上の審判員または審判補助員（お手伝い）をお願いする。
(8) 陸上競技部のある学校は 1 ~ 2 名の補助員をお願いする。
- 1 6 渡島中体連大会参加における参加の特例
(1) 地域クラブ活動に所属する中学生
① 地域クラブ活動に所属し、北海道中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。
② 北海道中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
A 北海道中学校体育大会の参加を認める条件
ア 北海道中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
イ 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。
ウ 地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
エ 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（令和 4 年 12 月スポーツ庁発出）の「2 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進、3 適切な休業日等の設定」を遵守していること。
オ 各地区中学校体育連盟に加盟もしくは認定されていること。かつ、各地区競技団体に登録していること。
カ 北海道における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
キ 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。
B 北海道中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件
ア 北海道中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項などに

従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 北海道中学校体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任有る代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険などに加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

ウ 北海道中学校体育大会への参加に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。

エ 団体競技における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。

C 参加を認めない場合

ア 北海道中学校体育大会の参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

③ 北海道中学校陸上競技大会参加の特例細則

在籍している学校の所属、または日本陸上競技連盟に登録をしている地域クラブ活動の所属のいずれかで参加できる。いずれの場合も、在籍している学校が所在する市町村（※）より、標準記録突破指定大会、全日本中学校陸上競技選手権大会に参加する。リレーは、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」又は登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合に限り、地域クラブ活動の所属で参加することができる。複数の種目（リレーを含む）に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。標準記録突破指定大会、および全日本中学校陸上競技選手権大会には同一の所属団体から出場しなくてはならない。

(※) 以下の2つの要件を満たす場合は、地域クラブ活動の登録所在地の市町村より参加することができる。

① 「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」又は「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」に在籍している場合

② 在籍している学校に希望する部活動がないこと等の場合において、北海道中学校体育連盟が市町村をまたいだ大会参加を認めている場合